

岡本喜八 構成・演出・ナレーションによる幻の短編映画

『全康さんの一日』

足立美術館 〔島根県安来市〕にて限定公開中!



撮影中の岡本監督(左)と足立全康(右)



毎週土曜日上映

幻の短編映画 |

全康さんの一日

1975年 / 24分 / カラー

構成・演出・ナレーター:岡本喜八 / 出演:足立全康

足立美術館創設者・足立全康の一日を、軽妙でユーモラスな視点で捉えた好編。岡本監督自身がナレーターを担当。

足立美術館では、映画界の鬼才・岡本喜八(1924~2005)の監督作品を毎週土曜日に上映しています。

足立美術館と岡本喜八監督の関係は今から40年以上前に遡ります。当館創設者の足立全康(1899~1990)と友人であった岡本喜八監督は、1970年の開館時から当館の理事を長年にわたり務めていただきました。理事就任以来、当館への助言をはじめ、PR映画や短編ドキュメンタリー映画も製作していただくなど、大変お世話になりました。それらのご恩もあり、少しでも多くの方々に岡本喜八監督の作品を知っていただきたいと考え、本企画の開催に至りました。また、その魅力を後世にも途切れさすことなく伝えたいとの思いから、特に終了期限を設けず、上映を続ける予定です。2018年4月~9月は、劇場映画全39作品の中から計26作品を上映します。

岡本喜八監督指揮のもと、開館5年目に製作された『全康さんの一日』(1975年製作)は、足立全康(撮影当時76歳)のとある一日を、岡本喜八監督らしい軽妙な視点で捉えた短編映画です。全康が美術館の経営や作庭に邁進する姿を、ときに虚構的に、ときに喜劇的に捉えることで一人の人物像が浮かび上がってくるという、まさに岡本流の記録映画とも言える構成になっています。岡本喜八監督自身がナレーションも担当している珍しい作品でもあります。記念映画として製作されたため、一般には未公開のままでしたが、当館限定で公開しています。映画本編前に上映しますので、ぜひこの機会にご覧ください。

※各上映作品のラインナップは裏面をご参照ください。

●足立美術館……実業家・足立全康が長年にわたって蒐集した美術品をもとに、昭和45年に島根県安来市に開館しました。横山大観をはじめとする近代日本画を中心とした魅力的なコレクションの数々を所蔵しています。また「庭園も一幅の絵画である」という全康の信念のもと作庭された50,000坪に及ぶ日本庭園は、米国の日本庭園専門誌「ジャーナル・オブ・ジャパニーズ・ガーデニング」の日本庭園ランキングで、初回の2003年から連続で「庭園日本一」に選ばれるなど国内外で高い評価を得ています。

毎週土曜日13時~劇場映画1作品と伴映

新館・アートシアター | 入場無料 | 12時30分開場 13時~『全康さんの一日』上映 13時30分~劇場映画1作品上映 | 定員84名
主催:足立美術館 | 協力:東宝、喜八プロダクション



www.adachi-museum.or.jp

岡本喜八監督 劇場映画作品 | 2018年4月～9月末までの上映作品

※各作品上映前に「**全蔵さんの一日**」(24分)を上映。

結婚のすべて

1958年 / 東宝 / 85分 / 白黒 / 出演:雪村いづみ、新珠三千代、三橋達也、山田真二、上原謙、仲代達矢、団令子、三船敏郎 (特別出演)
岡本監督の記念すべきデビュー作であり、リズムカルでスピードなテンポはまさに岡本作品の原点。モダンなセンスで当時の風俗を切り取った鮮烈作だ。

4月7日

若い娘たち

1958年 / 東宝 / 78分 / 白黒 / 出演:雪村いづみ、野口ふみえ、水野久美、山田真二、桐野洋雄、ミッキー・カーチス、上原謙
海と山に囲まれたある地方都市で展開する恋の行方を、テンポ良く活写した恋愛喜劇の佳作。ヒロインの娘たちを東宝若手女優陣が好演する。

4月14日

暗黒街の顔役

1959年 / 東宝 / 101分 / カラー / 出演:鶴田浩二、宝田明、三船敏郎、白川由美、柳川慶子、河津清三郎、田中春男、平田昭彦

「結婚のすべて」「若い娘たち」と、軽快な青春映画を手掛けてきた岡本喜八が初のアクションものに挑んで本領発揮。キレ味のいい演出を存分に披露した。

4月21日

ある日わたしは

1959年 / 東宝 / 95分 / カラー / 出演:上原美佐、宝田明、山田真二、水野久美、三宅邦子、上原謙、沢村貞子

聡明で美しい娘・ゆり子は、美しい魅力に溢れた医大生と出会い恋に落ちるが…。石坂洋次郎の原作を映画化した青春メロドラマ。

4月28日

独立愚連隊

1959年 / 東宝 / 108分 / 白黒 / 出演:佐藤允、中谷一郎、雪村いづみ、中丸忠雄、上原美佐、鶴田浩二、夏木陽介、三船敏郎
日中戦争の最前線において、軍の規律をもとめないハミ出し者揃いの守備隊の活躍を描く。西部劇へのオマージュに溢れた日本初の娯楽戦争活劇。

5月5日

暗黒街の対決

1960年 / 東宝 / 95分 / カラー / 出演:三船敏郎、鶴田浩二、司葉子、河津清三郎、田崎潤、ミッキー・カーチス、天本英世

前作のヒットを受け作られた「暗黒街」シリーズ二作目。洋画の犯罪映画のような作風が強く、快作に仕上がった。天本英世らが演じる歌う殺し屋たちも見どころ。

5月12日

大学の山賊たち

1960年 / 東宝 / 94分 / カラー / 出演:久保明、江原達怡、ミッキー・カーチス、山崎努、佐藤允、白川由美、鶴田浩二、越路吹雪、上原謙
吹雪に襲われた山岳部員とデパートガールの一行が、ある山荘へ逃げ込むが、そこへギャングに幽霊まで現れて…。娯楽要素を徹底的に盛り込んだ痛快編。

5月19日

独立愚連隊西へ

1960年 / 東宝 / 107分 / 白黒 / 出演:佐藤允、加山雄三、フランキー堺、久保明、中谷一郎、中丸忠雄、平田昭彦、水野久美

『独立愚連隊』のヒットによって製作された第2弾。活劇のなかにニヒリズムを漂わせた前作とはまったく異なる、破天荒かつコメディ色が強い、陽性の戦争活劇。

5月26日

暗黒街の弾痕

1961年 / 東宝 / 73分 / カラー / 出演:加山雄三、佐藤允、三橋達也、浜美枝、水野久美、ミッキー・カーチス、中谷一郎、中丸忠雄

「暗黒街」シリーズ三作目。エンジンテスト中の試走車を運転していた兄が謎の死を遂げた。帰ってきた弟は、エンジンを狙うギャングたちに戦いを挑む。

6月2日

顔役暁に死す

1961年 / 東宝 / 97分 / カラー / 出演:加山雄三、島崎雪子、水野久美、中谷一郎、柳屋二郎、田中邦衛

留守中に父を殺害されたアラスカ帰りの男が、ギャング団の抗争に巻き込まれながら犯人捜しに奔走する。洋画テイストをふんだんに盛り込んだ犯罪サスペンス。

6月9日

地獄の饗宴

1961年 / 東宝 / 94分 / 白黒 / 出演:三橋達也、団令子、池内淳子、田崎潤、砂塚秀夫、佐藤慶

当時の風俗を織り込んだ喜八流フィルム・ノワール。偶然拾ったネガフィルムから、上官の横領犯罪を嗅ぎつけた主人公。横領金の争奪戦がはじまる。

6月16日

ごぶ鼠作戦

1962年 / 東宝 / 102分 / 白黒 / 出演:加山雄三、佐藤允、夏木陽介、中谷一郎、田中邦衛、砂塚秀雄、中丸忠雄、ミッキー・カーチス
参謀救出の密命を受け、一癖ある5人の男たちが敵陣へと乗り込む。『独立愚連隊』の流れを汲む西部劇調の戦争活劇で、公開当時大ヒットを記録した。

6月23日

月給泥棒

1962年 / 東宝 / 93分 / 白黒 / 出演:宝田明、司葉子、十朱久男、宮口精二、若林映子、ジェリー伊藤

出世計算機と呼ばれる男が海外からやってきたバイヤーと大きな取引を狙うが…。ドライな現代サラリーマンが狙う恋と出世を描いた痛快喜劇。

6月30日

戦国野郎

1963年 / 東宝 / 98分 / 白黒 / 出演:加山雄三、佐藤允、中谷一郎、星由里子、水野久美、中丸忠雄、田崎潤

『独立愚連隊』の戦国時代版ともいうべき、痛快冒険活劇! 命を狙われている若き忍者が騙し騙されの壮絶な戦いに身を投じていく

7月7日

江分利満氏の優雅な生活

1963年 / 東宝 / 102分 / 白黒 / 出演:小林桂樹、新珠三千代、東野英治郎、矢内茂、横山道代、中丸忠雄、天本英世、砂塚秀夫
山口瞳の直木賞受賞作の映画化。平凡なサラリーマンを通して、戦中派の悲哀と屈折した心情を描く。アニメーションやミュージカル、斬新な編集にも注目。

7月14日

ああ爆弾

1964年 / 東宝 / 95分 / 白黒 / 出演:伊藤雄之助、砂塚秀夫、越路吹雪、中谷一郎、沢村いき雄、本間文子、二瓶正也、天本英世
ヤクザの親分が組を乗っ取った新興ヤクザ相手に万年筆爆弾で命を狙おうとする。ジャズからワルツ、浪曲に御詠歌まで駆使した和製ミュージカル・コメディ。

7月21日

侍

1965年 / 東宝、三船プロ / 122分 / 白黒 / 出演:三船敏郎、小林桂樹、伊藤雄之助、楠幸四郎、新珠三千代、志村喬
戦前から繰り返し映画化された「侍ニッポン」を重厚な時代劇に仕上げた。幕末、浪人・新納鶴千代は井伊直弼の暗殺を謀る水戸浪士の一群に身を投ずる。

7月28日

肉弾

1968年 / 「肉弾」をつくる会、ATG / 116分 / 白黒 / 出演:寺田農、大谷直子、笠智衆、北林谷栄、田中邦衛、仲代達矢 (レレーター)
岡本喜八自身をモデルにしたと思われる、ひとりの特甲幹の青年の眼から終戦を見つめた青春喜劇。岡本喜八の想いのほとばしる傑作。

8月4日

日本のいちばん長い日

1967年 / 東宝 / 158分 / 白黒 / 出演:三船敏郎、山村聰、笠智衆、藤田進、黒沢年男、高橋悦史、佐藤允、小林桂樹、加山雄三
昭和20年8月14日から翌15日にかけて、終戦に至るまでの狂騒と緊迫の24時間。オールスターキャスト、緊張感あふれるドキュメンタリータッチで描いた大作。

8月11日

激動の昭和史 沖繩決戦

1971年 / 東宝 / 149分 / カラー / 出演:小林桂樹、丹波哲郎、仲代達矢、田中邦衛、岸田森、中谷一郎、高橋悦史、加山雄三、大空真弓
太平洋戦争末期、本土の捨て石となって悲惨な地上戦を体験した沖縄の軍人と民間人の運命を描いた壮絶な戦争スペクタクル。近年再び評価の高い作品。

8月18日

血と砂

1965年 / 東宝、三船プロダクション / 132分 / 白黒 / 出演:三船敏郎、団令子、仲代達矢、佐藤允、伊藤雄之助、天本英世、名古屋章
北支戦線を舞台に、男気溢れる曹長と少年軍楽隊の死闘を描いたミュージカル仕立ての戦争映画。反戦映画としては他に類を見ない軽妙かつ壮絶な作品だ。

8月25日

殺人狂時代

1967年 / 東宝 / 99分 / 白黒 / 出演:仲代達矢、団令子、砂塚秀夫、天本英世、滝憲一、富永美沙子、久野征四郎
訝えない大学教授にさし向けられた13人の殺し屋たちとの対決! 理屈抜きに面白い、喜八タッチ炸裂の娯楽アクションコメディ。

9月1日

赤毛

1969年 / 三船プロ / 116分 / カラー / 出演:三船敏郎、岩下志麻、高橋悦史、寺田農、乙羽信子、望月優子、田村高廣、伊藤雄之助
慶応四年。世直しを夢見て豪快に暴れた男! 赤報隊の一隊士を主軸に、民衆のエネルギ―と体制の非情さを描いた幕末アクション。

9月8日

座頭市と用心棒

1970年 / 勝プロ / 115分 / カラー / 出演:勝新太郎、三船敏郎、若尾文子、米倉喬加年、嵐寛寿郎、滝沢修、岸田森、寺田農

あの「座頭市」と「用心棒」の夢の対決を、社会からはみ出した二人の男の話としてハードボイルドに描き、シリーズ最大のヒットとなったファン必見の話題作。

9月15日

斬る

1968年 / 東宝 / 114分 / 白黒 / 出演:仲代達矢、高橋悦史、中村敦夫、神山繁、岸田森、久保明、久野征四郎、中丸忠雄、星由里子
藩の争いに巻き込まれたふたりの浪人と若き7人の武士の活躍をダイナミックに描く。山本周五郎の原作を元に映画化した娯楽時代劇の決定版。

9月22日

大誘拐 RAINBOW KIDS

1991年 / 「大誘拐」製作委員会 / 119分 / カラー / 出演:北林谷栄、緒形拳、風間トオル、内田勝彦、西川弘志、樹木希林、嶋田久作
3人の若者によって誘拐された紀州一の地主である老婆が、逆に誘拐犯のリーダーとなり、家族に100億円の身代金を要求する大ヒットした痛快犯罪コメディ。

9月29日

岡本喜八 おかもときはち(1924年～2005年)
 <p>1958年に『結婚のすべて』で鮮烈なデビューを飾る。日中戦争を舞台にした物語を西部劇風に描き、それまでの戦争映画の常識を覆した『独立愚連隊』(1959年)や、8月15日の終戦を緊張感あふれるドキュメンタリータッチで描いた大作『日本のいちばん長い日』(1967年)、自身の戦争体験をベースに、ある特攻隊員の日を青春喜劇として描いた『肉弾』(1968年)など、同じ戦争映画ながら全く異なる趣向で描くその姿勢には、まず映画として面白くなくてはならないという、活動屋としての職人気質がうかがえる。その他にも喜劇、時代劇、ミュージカル、SFサスペンスなど多彩なジャンルを手がけ、常に娯楽性にあふれた大胆不敵な作風は、現在に至るまで多くの映画ファンを魅了している。</p>

※上映はフィルムではなく、プロジェクターでの上映となります。
※日時、内容等は変更になる場合があります。ご来場前にホームページ (http://www.adachi-museum.or.jp/) 等でお確かめ下さい。
※作品によっては製作されてから長い年月が経過しているものがあり、画面・音声必ずしも良好でない場合があります。何卒ご了承ください。
※事前のご予約は承っておりません。
※開映時間を過ぎてからのご入場はお断りさせていただきます。あらかじめご了承ください。

●足立美術館 〒692-0064 島根県安来市古川町320

●お問い合わせ ☎0854-28-7111 (年中無休)

●アクセス: JR安来駅より、便利な無料シャトルバスを毎日運行しています。お気軽にご利用ください。